

価値創造ストーリー～住友林業グループのサステナビリティ経営～

「住友林業グループは、公正、信用を重視し社会を利するという「住友の事業精神」に基づき、人と地球環境にやさしい「木」を活かし、人々の生活に関するあらゆるサービスを通じて、持続可能で豊かな社会の実現に貢献します。」という経営理念を定め、サステナブルな経営を行っています。

経営理念

P.2 [🔗](#)

長期ビジョン

P.20 [🔗](#)

Mission TREEING 2030

～地球を、快適な住まいとして受け継いでいくために～

私たちは、地球環境、人々の暮らしや社会、市場や経済活動に価値を提供することで、将来世代を含むあらゆる人々やすべての生き物に、地球が快適な住まいとして受け継がれていくことを目指します。これまでも強みとしてきた「森」と「木」の価値を活かし、深め、新たな未来の力へと変えていきます。

「Mission TREEING 2030」
達成に向けた
事業方針

- 1 森と木の価値を最大限に活かした脱炭素化とサーキュラーバイオエコノミーの確立
- 2 グローバル展開の進化
- 3 変革と新たな価値創造への挑戦
- 4 成長に向けた事業基盤の改革

経営のマテリアリティ

P.58 [🔗](#)

9つの重要課題

中期経営計画

Mission TREEING 2030 Phase 1

(2022年12月期～2024年12月期)

P.23 [🔗](#)

将来の成長と脱炭素化への貢献に向けた
基盤をつくる3年

Mission TREEING 2030 Phase 2

(2025年12月期～2027年12月期)

P.25 [🔗](#)

飛躍的成長に向けた
改革と具現化の3年

基本方針

脱炭素化への挑戦

稼ぐ力の向上

グローバル展開の深化

経営基盤の強化

事業とESGの更なる一体化

Mission TREEING 2030 Phase 3

価値創造ストーリー～住友林業グループのサステナビリティ経営～

2022年2月には、2030年のあるべき姿を見据えた長期ビジョン「Mission TREEING 2030」を策定し、「地球環境」「人と社会」「市場経済」の3つの価値から、9つの重要課題を特定しました。住友林業グループは森林経営から流通・木造建築・バイオマス発電まで、「木」を軸に事業活動を展開しています。このユニークなバリューチェーンを「ウッドサイクル」という図で表現しました。我々はこの「ウッドサイクル」を回すこと、つまり森林のCO₂吸収量を増やし、木材による炭素固定を促し、木造建築で長期間にわたり炭素を固定することで脱炭素社会へ貢献していきます。

